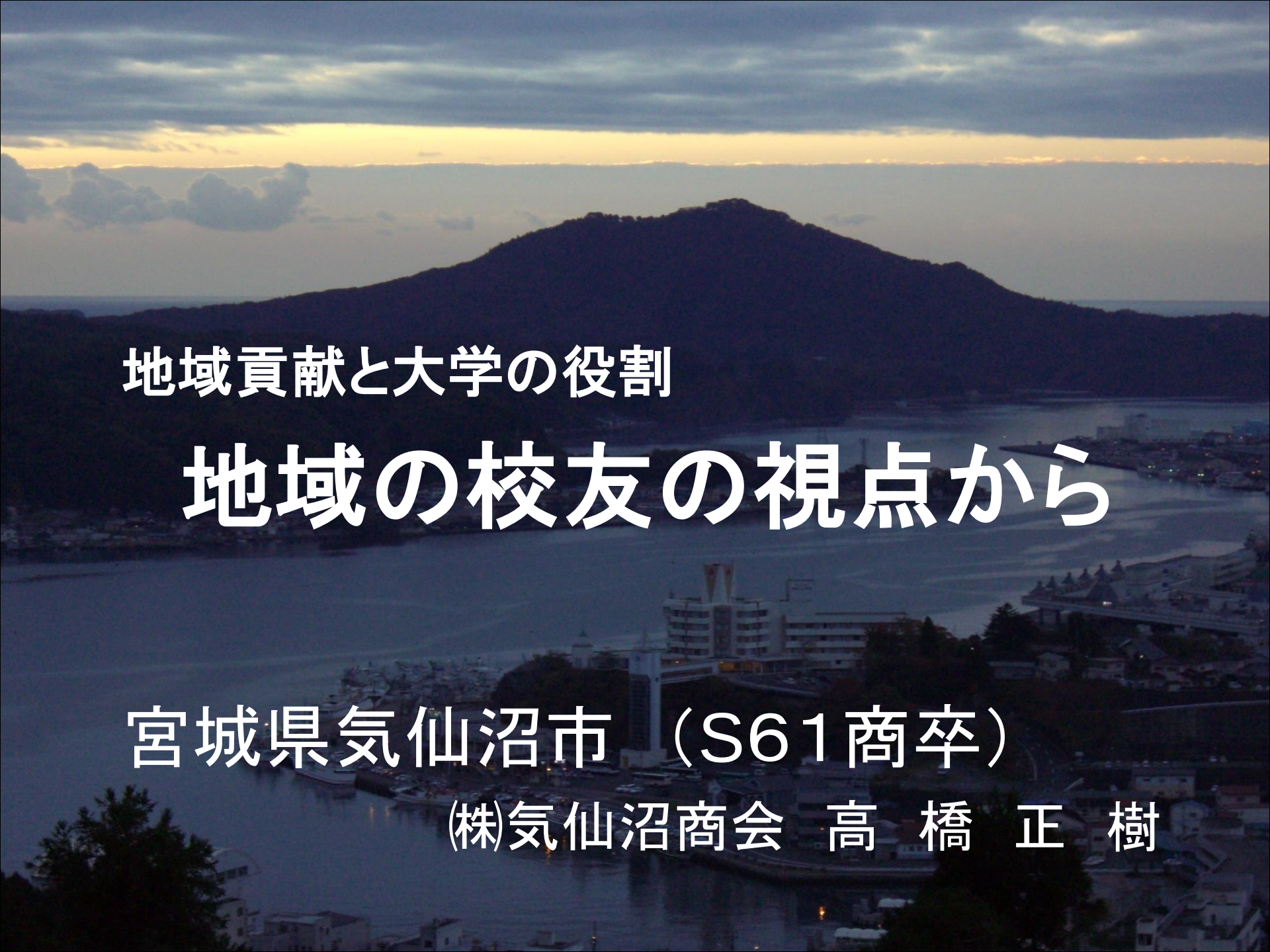




地域貢献と大学の役割

地域の校友の視点から

宮城県気仙沼市（S61商卒）

（株）気仙沼商会 高橋正樹

◆気仙沼商会(震災当時)

- 創業 大正9年
- 170名 26事業所
- 漁船燃料、産業用燃料、家庭用燃料、
ガソリンスタンド宮城岩手県内18ヶ所
- 年商 約100億円

図15中 13事業所被災

鹿折SS
ナナゴ一会館
家庭エネルギー部
市場前SS・オートガス
本社
潮見町倉庫
朝日町油槽所
CDショップ
松岩SS
LPG充填所
パイパスSS

 $\Lambda^3 \mathcal{I} \Lambda^0 \Sigma SS$

西SS

◆市内15中 13事業所被災

◆大学の災害ボランティアでの貢献

①マンパワー

②客観的第三者からの支援

③前へ進むキッカケ

④子供たちの夢、未来創造

⑤高齢者の希望、励み、勇気

⑥専門家としての援助(場づくり)

⑦ 〃 (まちの再生)

◆平時の地域連携のポイント

①体制づくり(大学側・地域側)

②連携のテーマ

◆災害ボランティアでの連携

早稲田大学

気仙沼市

●明確性



●緊急性



●社会性



●資金



●窓口



◆平常時の連携

早稲田大学

気仙沼市

●明確性

△

△

●緊急性

×

×

●社会性

○(△)

△(○)

●資金

△

×

●窓口

△⇒○

△

◆大学と地方都市の連携

	災害時		平常時	
	早大	地方	早大	地方
●明確性	◎	◎	△	△
●緊急性	◎	◎	×	×
●社会性	◎	◎	○(△)	△(○)
●資金	◎	○	△	×
●窓口	◎	○	○	△

①体勢づくり(大学側・地域側)

- 目的、資金、出来る事、出来ない事等、お互いの背景を開示
- 欲しい物、提供できる物を開示
- 窓口、推進役の重要性
 - ※単なる担当では進まない

◆地域が抱える課題

1. 産業

●少子高齢化人口減 労働力確保

●地域購買力の低下

●DXなど、技術導入の遅れ

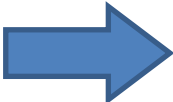
---ネット、AI、流通網 省力化 市場の拡大---

※システム業者の不在、高額投資の難易度

◆地域が抱える課題

2. 生活

- 商店 商店街の消滅
- 公共交通機関 タクシーの撤退廃業

 交通弱者、買い物難民

--- UBER、通販 ---

◆地域が抱える課題

3. 地域の維持運営

●人口減、税収減

- ➡ ・上下水道、病院、ゴミ収集など
インフラ公的施設の維持困難
- ・自治会、民生委員などの継続不能
※街灯会が消滅した地区、既に多数
- ・道路の草刈、まちの維持費増大

--- 自然・食・観光・土地等 可能性は無限大 ---

②連携のテーマ

- 地方の課題は机上、仮説でも
- 分野を絞って、研究のフィールド
- 個人、学部、研究室
- 若い人達が交流するだけでもプラス
（名物・夏の催し、起業・・・）

えっ！